

“生物多様性のホットスポット 上関”
 ～瀬戸内の原風景 最後に残された豊かさが残る場所～



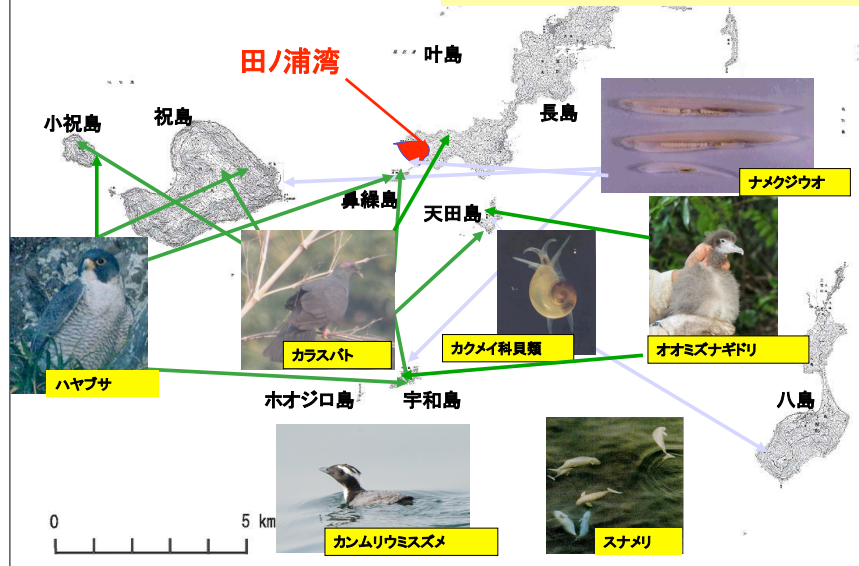
絶滅に瀕した生き物が棲む場所 瀬戸内の“最後の楽園”

スナメリ分布、今と昔
 瀬戸内海西部



‘07. 11. 京都シンポジウム(粕谷俊雄)より

絶滅に瀕した生き物が棲む場所 瀬戸内の“最後の楽園”

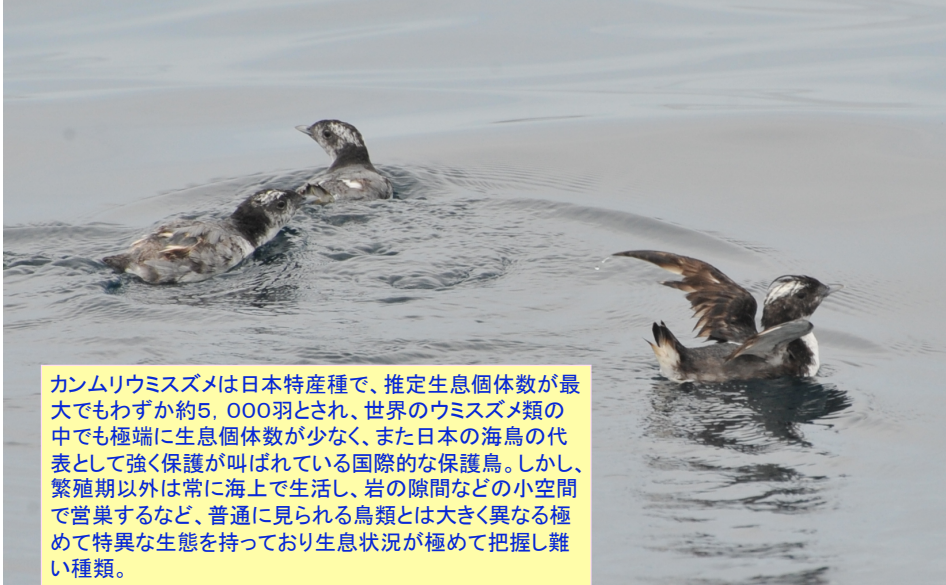


“希少生物の宝庫 田ノ浦と周辺海域”



‘10. 1. 9.～1.11. 3学会共同シンポジウムエク
 カーションで報告したもの

“希少生物の宝庫 田ノ浦と周辺海域”



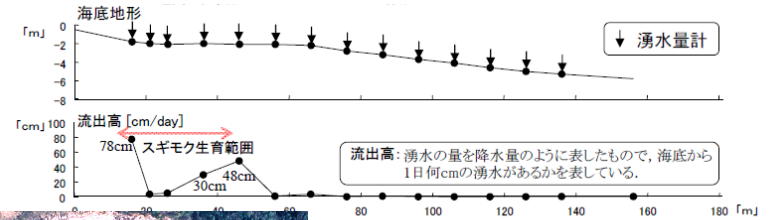
カンムリウミスズメは日本特産種で、推定生息個体数が最大でもわずか約5,000羽とされ、世界のウミスズメ類の中でも極端に生息個体数が少なく、また日本の海鳥の代表として強く保護が叫ばれている国際的な保護鳥。しかし、繁殖期以外は常に海上で生活し、岩の隙間などの小空間で営巣するなど、普通に見られる鳥類とは大きく異なる極めて特異な生態を持っており生息状況が極めて把握し難い種類。

貴重な生態系を支える自然環境

集中豪雨のような田ノ浦の湧水

天然の濾過装置として機能する特殊な地理構造の破壊

湧水の垂直分布図



湧水量: 1日あたり降雨量に換算すると700ミリメートル。豊富な湧水による瀬戸内海で稀に見る水循環のよさが貴重な生態系を生んでいることが明らかになった。



豊かな湧水のある砂質の海底(2006.11.4 新井) 調査ラインの40m付近、たくさんのキスが泳いでいる。

'07. 11. 23. & 25. 山口 & 上関シンポジウム配布資料(菊池亜希良 & 新井章吾氏)

瀬戸内の小さな日本海

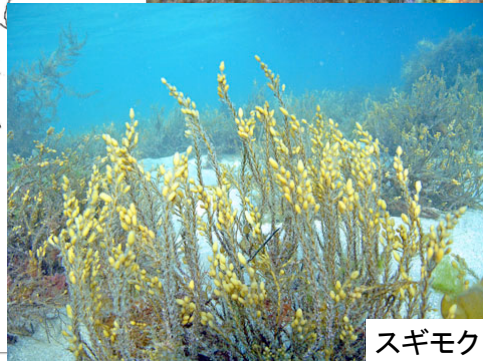


スギモクの生息域

(寺田竜・吉田忠生・新井章吾・村瀬昇 2008)



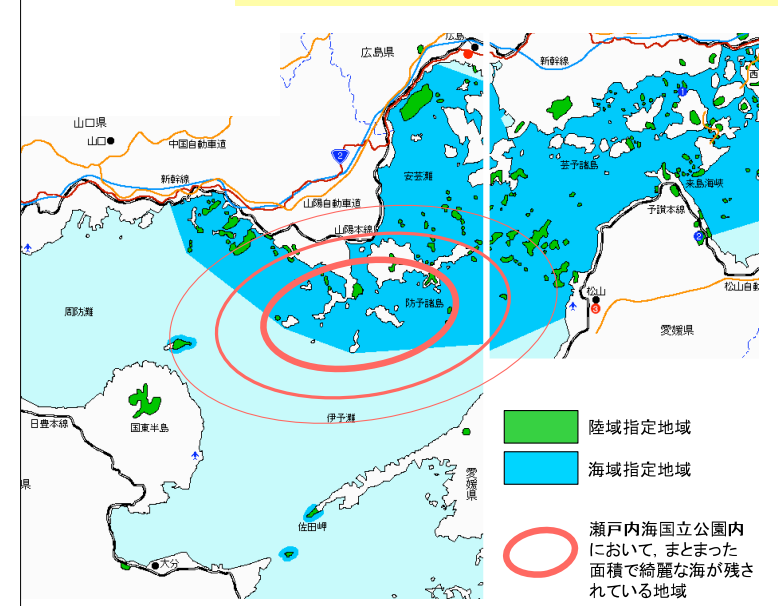
オキナウチワ



スギモク

“周防の生命圏”構想

周防灘西部は人と自然の生命圏



陸域指定地域
海域指定地域

瀬戸内海国立公園内において、まとまった面積で綺麗な海が残されている地域

08. 7. 12. “周防の生命圏” 菊池亜希良